

組み立てを始める前に

本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

機体を組み立てる前に必ず説明書に記載されている説明書とキットの部品を照らし合わせ各部品に欠品が無いかをチェックしてください。また、不良箇所も確認願います。不良、欠品が認められる場合はすぐに当社宛ご連絡ください。

クレームに関しては許容範囲以上の要求には応じられない事が有りますのでご了承願います。

例えば、部品同士の噛み合わせが悪くても修正して組み立てられる場合、コストダウンを目的に省略している部分などのご容赦願います。また、組み立て途中または組み立て後のクレームに関しては応じかねますのでご了承願います。



本キットについて

使用する機材(無線機、エンジン、電動ユニット等)は本機に適正なサイズ、性能の有る製品を選んで下さい。このキットはラジコン飛行機の組み立て、飛行の経験がある方を対象に生産されました。組み立て、飛行に関しては方法を誤ると重大な事故を起こす可能性が有ります。経験が無い方は経験者の指導の元に製作、飛行を行ってください。また、正常に組み立てられていても無線機のトラブル、機体の最高速度を超えた飛行や荷重のかけ過ぎによって空中分解を起します。飛行場所や飛行方法は最悪の事態を想定して安全を確保してください。当社では無理の無い飛行を想定し各部の強度を確保し性能を維持しております。

※本フロートは無理の無い飛行条件で設計されてます。操縦方法、気象条件、水面の状態によって転倒します。安全な方法で飛行、離着水を行ってください。

エンスト、転倒等で回収に向かう場合は必ず条件に合った回収方法を行ってください。流れが速い場合や沖に向かって風が強い場合は動力付きの船を使って下さい。泳いで回収等は絶対に行わないで下さい。

本製品によって起こる事故、その他は一切責任は負いません。万が一の事故に備え、必ず保険に加入して下さい。

予告無く仕様を変更する事があります。

全長：815mm
 フロート幅：80mm
 フロート単体重量：約200g/一本
 推奨機体重量/1500~2000g
 (25~50クラス)
 本セットには機体は含まれません。

パーツリスト

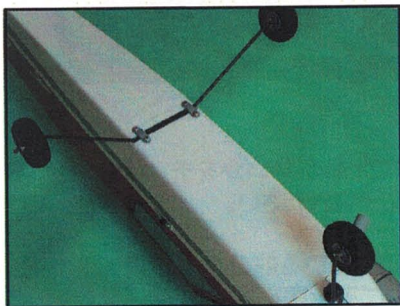
- | | |
|---------------------|----------------------|
| ●フロート本体・・・・・・・・2 | ●ラダーピアノ線(高翼用)・・・1 |
| ●フロント支柱・・・・・・・・1 | ラダーピアノ線(低翼用)・・・1 |
| リヤ支柱・・・・・・・・1 | 3mmカーボンシャフト・・・2 |
| 左右連結プレート(F)・・・1 | ●3×8ビス・・・・・・・・12 |
| 左右連結プレート(R)・・・1 | 3×12 タッピング・・・・・・・・13 |
| ●テールフィン(胴体用)・・・1 | 2mm タッピング・・・・・・・・6 |
| 3mmベニヤ・・・・・・・・1 | 3mmナット・・・・・・・・12 |
| ●テールフィン・・・・・・・・2セット | アルミステー・・・・・・・・4 |
| 水中ラダー板・・・・・・・・1 | 3×25mm タッピング・・・2 |
| 3mmカーボンシャフト・・・2 | |
| ラダーロッド固定プレート・2 | |

※組み立てや調整でわからない場合はお気軽にお電話下さい。

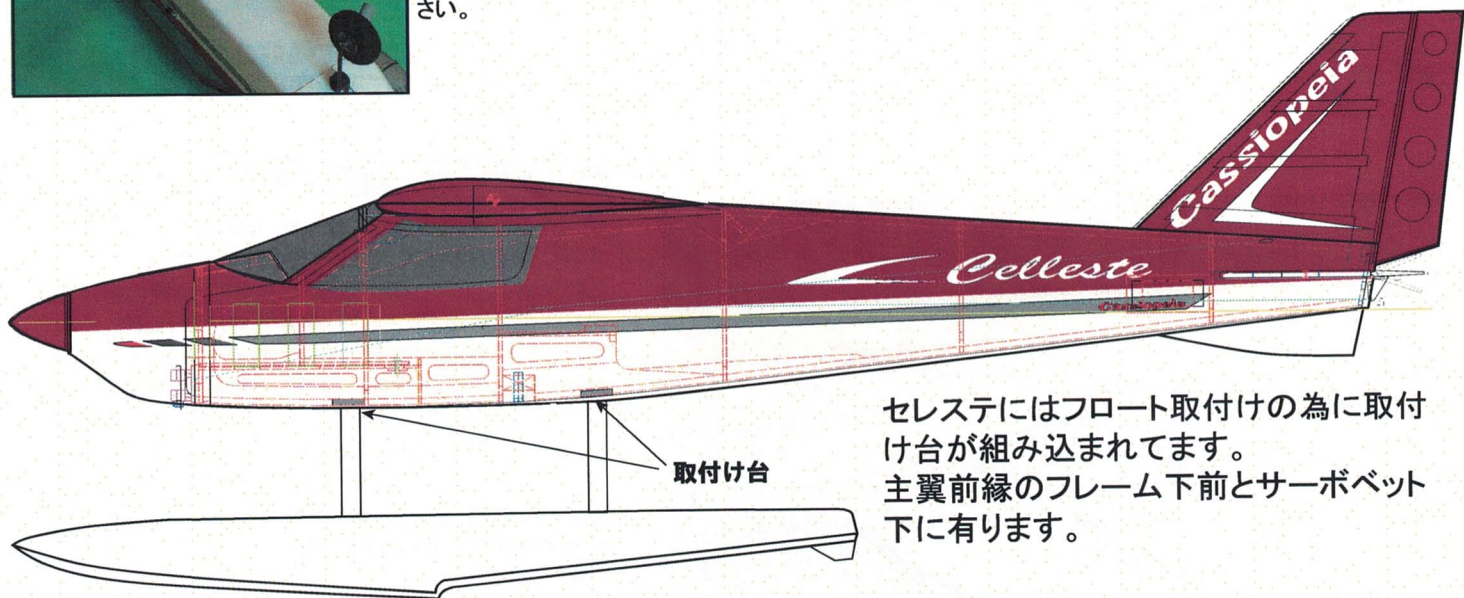
ご質問、お問い合わせなど、お気軽に連絡下さい。ホームページでは新製品案内、イベント報告、製品情報など掲載してます。ぜひご覧下さい。

夢いっぱいRCライフ **カシオペア**

奈良県磯城郡三宅町石見62-33
 tel 0745-44-1661 / 090-3718-4093
 mail : ossannya@ybb.ne.jp
 カシオペア製品紹介ホームページ
<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~koichi-h/>
 文字検索「夢いっぱいRCライフ カシオペア」



メインギア、ノーズギアを取り外します。メインギアは木部から水を吸い込まないように瞬間接着剤(中粘度)を塗ってお願いします。アロットはメインギアを使用します。ノーズギアだけ外して下さい。



セレステにはフロート取付けの為に取付け台が組み込まれています。主翼前縁のフレーム下前とサーボベツト下に有ります。

取付け台



リヤ支柱補強版を3×8ビス、ナツで固定します。ナツにはネジロック剤を使用する事をお勧めします。



ステップ位置は重心位置の真下にあわせて下さい。

前後位置を確認します。機体の重心位置の真下にステップが来るように位置を合わせます。左右の角度も確認して下さい。左右で角度が変わると離水速度の差から不安定になります。フロートはガムテープで仮止めです。



フロント支柱補強版と共締め固定。

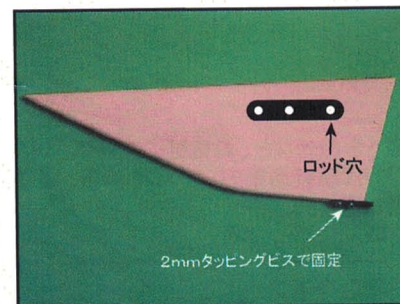
ガムテープで仮止め

アライメントを再確認して下さい。胴体と平行か、左右のフロートがトーアウトになっているかを再確認して下さい。



エポキシ接着剤で固定。

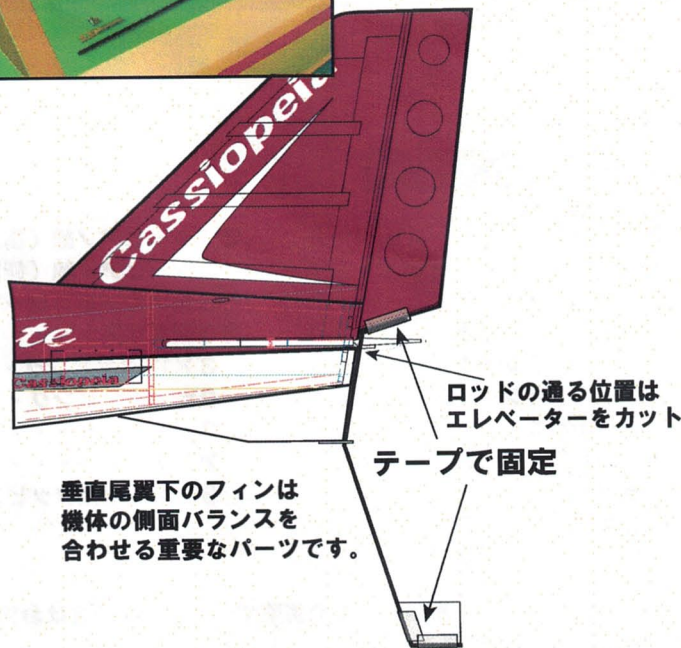
支柱補強ロッドを取り付けます。ロッドと取付金具はエポキシ接着剤を使って下さい。支柱には3×6ビス、ナツをネジロック剤を使って締め付けます。



ロッド穴

2mmタッピングビスで固定

フィンにロッド補強板を取り付けます。2mmタッピングビス2本を使い固定。後にロッドが通るので位置に注意。

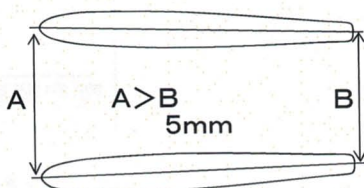


ロッドの通る位置はエレベーターをカット

テープで固定

垂直尾翼下のフィンは機体の側面バランスを合わせる重要なパーツです。

フロートを上から見て前が開くように取り付けて下さい。前が閉じると転倒しやすくなります。

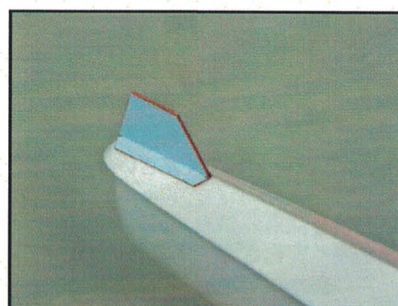




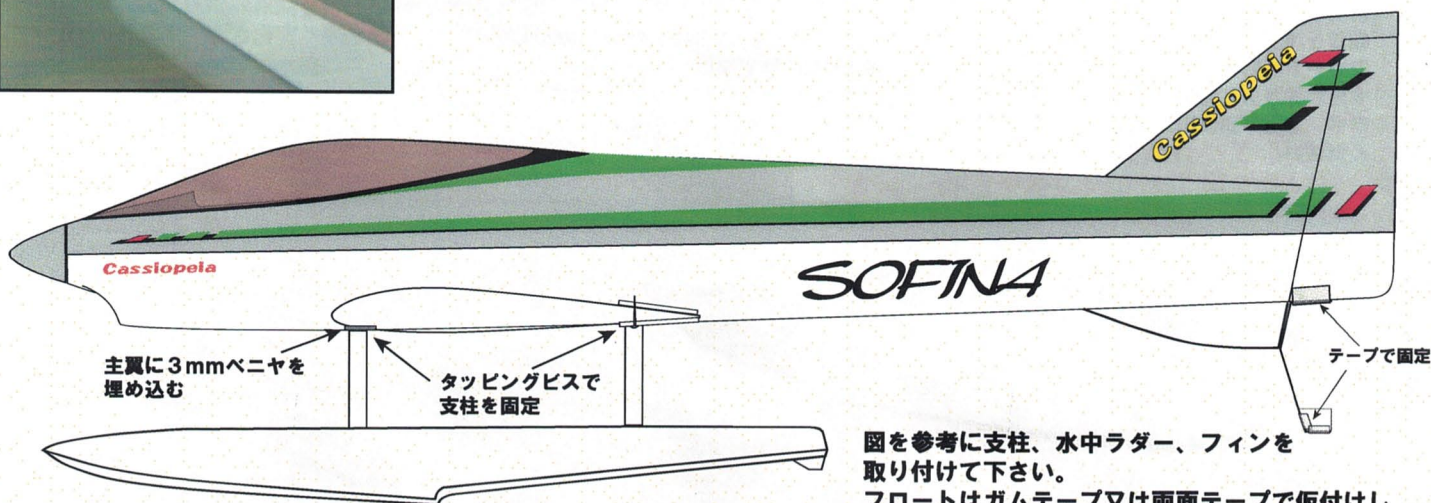
フィンを後部に接着します。接着部分のフィルムを剥がし、高粘度瞬間接着剤で接着します。接着前に仮組みして、ロッドなどがスムーズに通るか、軽く動くかを確認後接着します。接着剤が固まってから、ロッドを少し後方に曲げます。



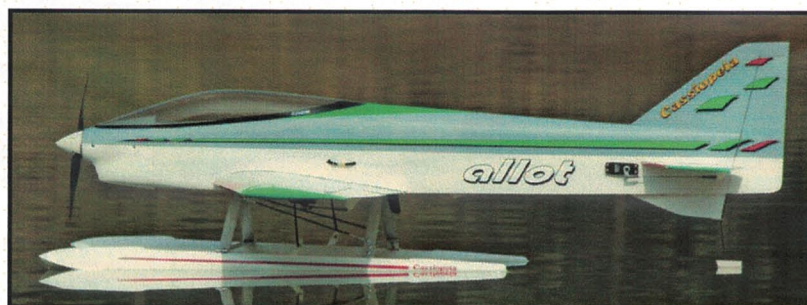
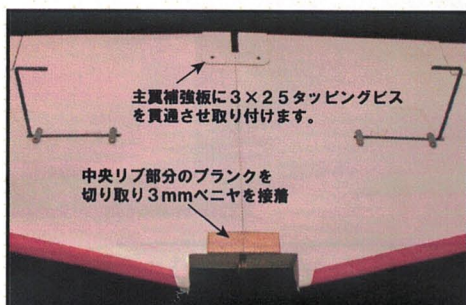
ガムテープで仮止めしている状態で重心位置をチェックし、重心位置を合わせてから水に浮かべて下さい。写真のように後端が少し浮き、水中ラダーが水に沈む位置を確認して下さい。左右のフロートが胴体に平行になっているか、前側が後部に対して5mm以上開いているかを必ず確認して下さい。位置が良ければ3mmタッピングビスで固定します。



フロートフィンを後部に接着します。機体の動きと水の動きを合わせ転倒を防止するパーツです。



図を参考に支柱、水中ラダー、フィンを取り付けて下さい。フロートはガムテープ又は両面テープで仮付けし水面に浮かべて位置を確認後に固定します。



水に浮かべ、位置を確認後、支柱とフロートをタッピングビスで固定し、振れ止めの為にメインギアとフロートをホーンを使って固定します。

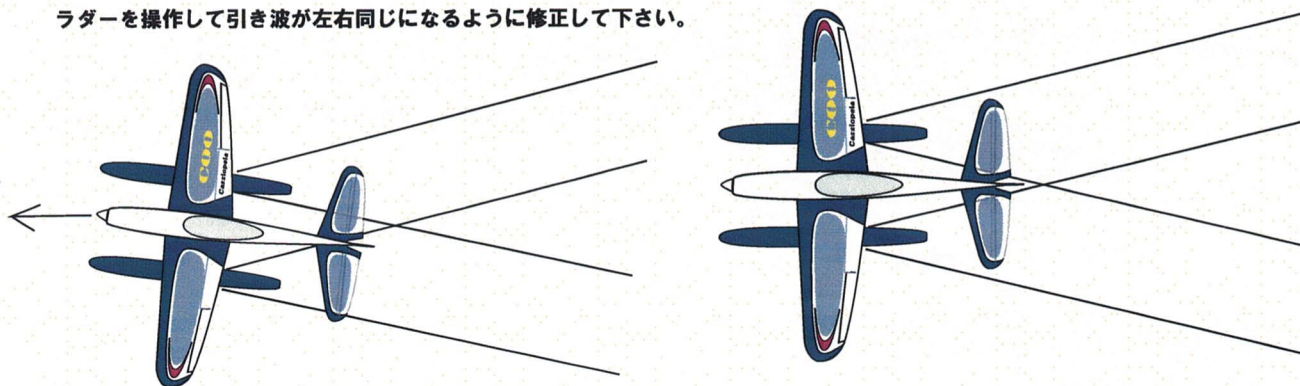
左右の高さを合わせ穴を開け、差し込んでおいて下さい。

操縦に関して注意

着水する時は必ず機首を上げてください。ジャンプしにくい形状を採用している為に機首を下げて着水すると水に突っ込み転倒します。



ラダーを操作して引き波が左右同じになるように修正して下さい。



引き波が左右同じように引いている状態で滑走させて下さい。特に横風での離着水は転倒しやすいので避けてください。

横風の中を離着水すると図のように機首を風上に向けて滑走します。フロートはある程度の横滑走出来ませんが限界があり転倒の原因となります。ラダーを風下側に操作し安定させてください。

本フロートは上空性能を重視し空気抵抗の少ない細い形状を採用してます。ジャンプしにくいように先端に向かい滑走面のV角度を深く変化させてます。細い形状は横風でフロートが沈んだ状態から加速し、また着水して減速しハンプ状態が最も転倒しやすい状態です。飛行する場所の水の流れ、風の状態に合わせて飛行して下さい。



フロート800の特性について。

飛行中の空気抵抗を少なくする為に比較的細長い形状のフロートです。美しく離着水する為に安定性を犠牲にしている面があります。以下の特性を理解の上、飛行願います。

●フロートの滑走面はV角度を多い目に取ってます。

波に強い特性がありますが、横風着水など水の流れと進行方向が異なる場合は接水と同時に横向きに進み、転倒しやすい特性があります。またスピンさせた時も横滑りにくい為に転倒しやすくなります。

滑走中は風の向き、水の流れを考慮して操縦して下さい。

●加速中に横風などを受け進行方向と機首の方向が変わってしまう事が有ります。そのまま加速を続けると転倒する事が有ります。風下側にラダー操作し離水を中止し、風の向きを合わせて離水して下さい。特に細い川など風向きと流れが合わない時はラダー操作を慎重に操作して下さい。

●滑走(プレーニング)から減速しフロートが沈む時が一番不安定な速度です。進行方向に注意し旋回操作を行わないで下さい。側面の抵抗が増え、外側に転倒しやすくなります。